

S.G Report

No.4

『APU連携ワークショップ』

- 日 時： 平成27年7月1日（水）～3日（金）
- 参加者： 1年SGコース生徒（84名）および職員（中山、重信、岩木、鶴濱）
- 訪問先： 立命館アジア太平洋大学（APU）
- 目 的： APUと連携し、海外からの留学生（国際学生）と環境に関するディスカッションや意見交換を行い、今後の課題研究への意識を高める。各グループ毎に英語を使ったプレゼンテーションの準備及び基本的な練習を行い、年度末に行われる課題研究のテーマ発表会に向けての下地を作る。また、様々な活動を通して、SGクラス内の親睦を図ることも目的とする。

【研修内容】

研修内容	
<p>7月1日（水）</p>   	<p>1. 開校式（13:10～13:30） <APUの学生からの概要説明> ・多国籍な学習環境 ・異文化に対する寛容さが育まれる。 <APUアドミッションオフィス：下乃門様から> ・グローバル化とは？ →実は日常のいろんな場面に垣間見られる。 ・コミュニケーションの際に大事な4つのポイント Smile, Greeting, Eye Contact, Personal Appearance ・効果的なプレゼンをするコツ →ゆっくり、身振り手振りを交えて</p> <p>2. キャンパスツアー（13:30～14:00） ・APU学生の方によるアイスブレーキングの後、大学施設案内。</p> <p>3. 研修I：国内学生からのプレゼンテーション（15:00～16:00） ・「海外留学プログラム」を経験した2人の国内学生からのプレゼンテーション。これまでの活動経歴や構成、今後の計画や英語の学習アドバイス、エコツーリズムについてなどの話があった。</p> <p>4. 研修II：英語課題（環境に関する読み物） ・環境に関する英文を読んだ</p> <p>5. 研修III（20:30～22:00） ・翌日の国際学生へのインタビューに向けて、各グループ毎にテーマに沿った質問の英訳作業やグループディスカッションを行った。生徒達は、英訳作業に苦しみながらも、互いに役割を分担し</p>

	<p>協力して作業する様子が見られた。</p>
7月2日（木）	<p>1. 研修IV：インタビューの英訳作業（6：50～）</p> <p>2. 研修V：国際学生とのディスカッション① +フリーインタビュー準備（9：30～10：30） ・各グループに国際学生がつき、各グループ毎に研究テーマについて話し合いを英語で進めた。フリーインタビューの準備も行った。</p> <p>3. 研修VI：国際学生へのフリーインタビュー (12：30～14：10) ・各グループ毎にキャンパス内を自由に動き回り、国際学生達へ環境に関する質問を英語で行った。</p> <p>4. 研修VII：国際学生によるプレゼンテーション (14：15～15：00) ・2人の国際学生から、プレゼンテーションをみせていただいた。</p> <p>5. 研修VIII：国際学生とのディスカッション② (15：15～17：15) ・フリーインタビューの結果を参考に、グループ毎に国際学生の方々と各テーマについて更に話し合いを深めた。</p> <p>6. 国際留学生達とのビュッフェ・パーティー (18：00～19：00)</p> <p>7. 研修IX (20：00～22：00) ・ポスタープレゼンテーションに向けてのポスター作りを行った。</p>
7月3日（金）	<p>1. プrezentation準備 (9：30～10：00) ・各グループごとにポスターの仕上げやプレゼンテーションに向けての準備を進めた。</p> <p>2. 研修X：プレゼンテーション (10：00～11：30) ・全16グループが2部屋に分かれ、それぞれ持ち時間10分（発表8分+質疑2分）の中で、研究テーマ・着眼点・着眼の理由・今後の展開についてポスタープレゼンテーションを英語で行った。国際学生のが、ジャッジを担当し、1位のチームには景品が送られた。生徒同士の質疑が活発になされ、できるだけ英語を使うとする姿勢が見られた。</p> <p>3. 閉校式 (11：30～11：45)</p> 

【生徒感想】

- ・今回の研修で新しい情報や今度の研究?方針も決まり、とても有意義であったと感じています。次は外来種の海外での被害などにつながっていきます。また、倫理的な考え方の芽も芽生えたので、そういうふうに考えていくことを日常的にするとともに、倫理的でないものは口に出さないにせよ、自分の脳内で書きかえ、受け入れていこうとも思いました。又、大学生というもう成人して大人になっている立ち場にたっても、まだ学び自らを高めていこうという人が多く同等な立場に立って考えてくれた APU のあの韓国人の人のような大人になりたい、と思うとともに、こういう大人がもっと増えてほしいなあ…とも思いました。今回の研修では、上のようなさまざまな事を学ぶことができました。
(10組 男子)



- ・今回の体験を通して僕は積極的に物事に取り組むという姿勢は大事だと思いました。何かを相手からされるのを待つのではなく、自分から取り組めば、自分の意見を主張することができるし、それで相手の意見を聞くことができればもっと自分の考えを深めることができます。特にグループではそのような姿勢はより大切になるのだと思いました。これから僕の班は今回 APU の学生をインタビューして得た情報を使って考えを深めていくつもりです。なので今回、学んだことを生かして積極的に取り組んでいき、もっと英語を使って話していきたいです。今回の APU 研修はいろいろな事が学べて、大きな達成感も得ることができ、とても充実して3日間になりました。(10組 男子)
- ・私がこの研修を通して学んだことは「すべてのことに積極的に取り組む」「準備を計画的にする」「英語を日常から使い、語彙力を増やすことが大切である」ということです。私は特に語彙力をきたえることが必要だと思いました。これらのことを行後につなげていくために、まずは英語の勉強をもっと熱心にしたいです。これは必要不可欠なことだと思います。また外国の方に話しかける勇気をもたなければいけないと感じたので、何事も億劫にならず、自信をもって生活したいです。そして、私たちに一番、必要なのは自分の意思、意見をはっきりと持つことだと思います。なので、世界でも通用する誰にも負けないような強い意志を持つため、日頃の勉強を頑張りたいです。(10組 女子)



- ・今回の研修を通して身にしみて分かったことは、英語は使わないと使えるようにならないということです。3日間、英語をたくさん話せる環境に置いてもらえて、英語を話す・伝えるスキルは確実に上がったと思います。どうやって言葉を相手に伝えるか、自分の少ない“語彙力”で相手に気持ちや考えを伝えるためには、日本語においておきかえる、すなわち、国語力も必要であると感じました。これからは英語の基礎的な習熟はもちろんですが、国語の力を伸ばす

ことも大切にていきたいです。(10組 女子)

・僕がAPUでよく言われた言葉の1つが「Don't be shay」です。まさにその通りだと思います。恥ずかしがっていたり、ためらいはもったいないことだと思えるようになりました。これからも「Don't be shay」を大切にしたいです。また、研究の面では、学生から得た情報、調査したことなどを使って、どのようにしたら大気汚染を止められるかなど結論が出てくるようにしたいです。この研修で得たものはとても多く感じられます。しかし、それを無駄にしないためにもこれから的生活などで活かしていきたいです。(9組 男子)

・私はこれから環境問題の研究では、しっかりと先を見通し、今、何をすべきなのかを考え、計画を立てて進めていきたいと思います。APU研修でグループごとの発表をすることになって、まだまだ自分は森林問題について知らないことが多いと感じたのでこれからもっと調べていきたいです。また、これから自分の将来（本当にやりたい事は何なのかななど）についても先のことととらえるのではなく、今のうちから真剣に考えていきたいと思います。英語も受験のための英語ではなくコミュニケーションをとって考え方を深めるためのものとして勉強して、もっと自分を高めたいと思いました。(9組 女子)



・今回の研修は、SGの研究だけではなく私自身の成長にも繋がったと思う。様々な視野や意見を持つ人と知り合い、情報を得て、自分たちの意見を発信した。このような経験は、きっとこれからの私の大きな糧となるだろう。経験を経験で終わらせず、いかにこの経験を生かしていくかが必要なのではないか。そのために、今後もしっかりと自分に必要なことを学び、感じ、新たな自分を見つけるよう努力していく。まずは、12月の研究発表まで、自分たちの研究に没頭し、よい研究へと繋げていきたい。(9組 女子)

・この3日間で体験することのできたことは絶対に私の中で大きな糧となったと考えます。このことを次は普段のSG以外の活動や将来へとつなげ役に立つことができるよう、けっして忘れないようにしたいです。初めて味わった空間は私にとって知らない世界であり自分の中の世界の小ささを改めて感じることができました。今後に続けていく研究やコミュニケーションの中で3日間から学んだ、伝えようと失敗を恐れずに立ち向かうということを一番に常に意識しようと思いました。研究をして英語でのプレゼンテーションは初めてだったので不十分なところや、班の協力のおかげもあったので、次からは、どうすれば興味をよりもってくれるか、理解しやすいかを求め、今後の活動を良いものとできるようにしっかり考えて活動したいです。(9組 女子)

